

ト
ー
ク
セ
ツ
シ
ョ
ン
エ
コ
ロ
ジ
ー
シ
ョ
ン
空
間
を
生
き
る
空
間
論
シ
ョ
ン
京
都
の
環
境

Part
1

2011.5.19 thu 15:00-17:30

「音の風景」と都市の環境文化資源

鳥越 けい子 (青山学院大学) × 阿部 健一 (総合地球環境学研究所)

Part
2

2011.6.9 thu 15:00-17:30

環境とデザイン

内藤 廣 (建築家) × 村松 伸 (総合地球環境学研究所)

地球研セミナー トークセッション エコロジー空間論 — 京都の環境空間を生きる —

総合地球環境学研究所(以下、地球研)は、京都議定書が締結された京都において、地球環境問題の解決に取り組んでいる研究所です。地球研の研究は、世界各地に展開されていますが、この研究所が位置する京都について、環境とひとつのかかわりを考究する必要性を日々感じ、その手法を模索してきていました。このたび、京都精華大学建築学科から「エコロジー空間論」という講義を依頼されたことを契機に、それを軸にして、京都、環境(自然、建造、社会)、観察と関与、といういくつかのキーワードをもって、このプロジェクトを進めています。

Part
1

2011.5.19 thu 15:00-17:30 「音の風景」と都市の環境文化資源

鳥越 けい子(青山学院大学)×阿部 健一(総合地球環境学研究所)

鳥越 けい子 とりごえ・けいこ

1955年東京生まれ。東京芸術大学音楽学部(楽理科)卒、同大学院修了。1980年カナダ政府招聘留学。「サウンドスケープ(音のエコロジー)論」をベースに、生活文化の継承や伝統文化の新たな活用、環境保全を視座に入れた環境デザイン、まちづくり、都市をフィールドにしたワークショップ等、各種プロジェクトを展開している。現在、青山学院大学総合文化政策学部大学教授。著書に『サウンドスケープ—その思想と実践』(鹿島出版会 SD選書)、サウンドスケープの詩学:フィールド篇』(春秋社)。共訳書に、マリー・シェーファー著、『世界の調律—サウンドスケープとはなにか』(平凡社)、同『サウンド・エデュケーション』(春秋社)。



2011.6.9 thu 15:00-17:30 環境とデザイン

Part
2

内藤 廣(建築家)×村松 伸(総合地球環境学研究所)

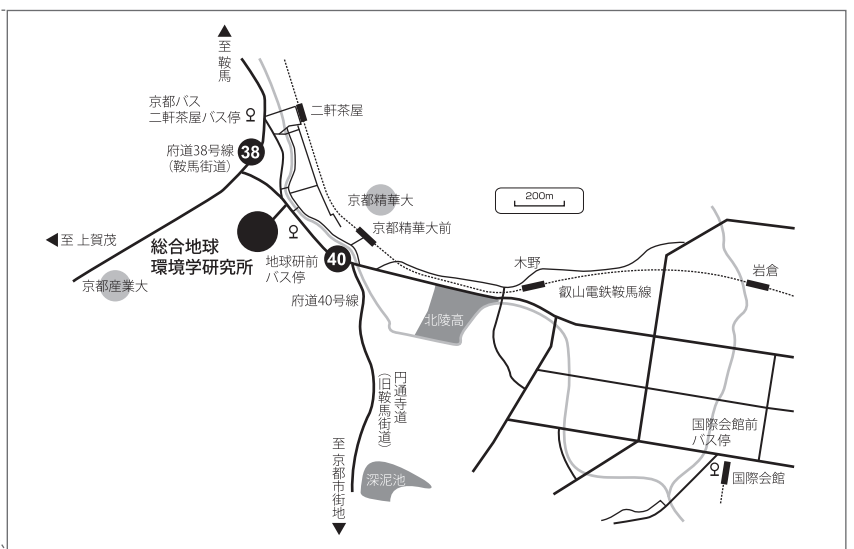
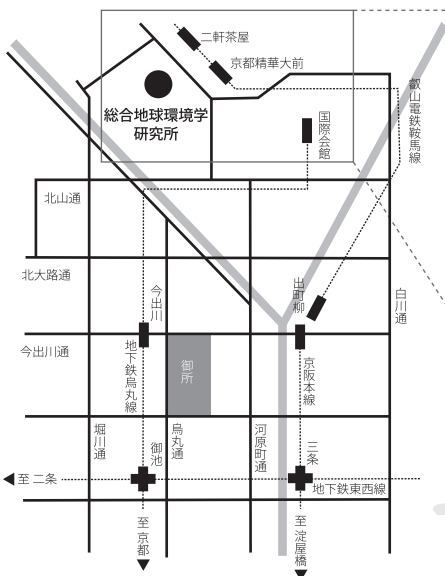


内藤 廣 ないとう・ひろし

1950年横浜生まれ。74年早稲田大学理工学部建築学科卒業。74 - 76年同大学院にて吉坂隆正に師事、修士課程修了。76 - 78年フェルナンド・イゲラス建築設計事務所勤務(マドリッド)。79 - 81年菊竹清訓建築設計事務所勤務。81年内藤廣建築設計事務所設立。2001年東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻助教授。03年同大学大学院教授。10年同大学副学長(11年3月退官)。近著に『環境デザイン講義』(王国社)、『建築家シリーズ03内藤廣』(日経BP社)など。

会場：総合地球環境学研究所・講演室

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4



- JR「京都駅」・近鉄「京都駅」・阪急「烏丸駅」より
京都市営地下鉄丸太線に乗り換え、「国際会館」下車。国際会館駅バスターミナル2番乗場から
京都バス40系統(京都産業大学ゆき)もしくは50系統(市原ゆき)にて(約10分)、「地球研前」下車スグ。
- 京阪「出町柳駅」より
叡山電鉄鞍馬線に乗換え、「京都精華大前」もしくは「二軒茶屋」下車、徒歩10分。

※マイカーの利用はご遠慮ください。

聴講無料・申込不要

お問合せ

担当 地球研・鞍田(くらた)

075-707-2382 fax.075-707-2508 kurata@chikyu.ac.jp

主催：京都精華大学建築学科・総合地球環境学研究所
共催：旭硝子財団助成「都市環境文化資源の総合評価手法の構築とその循環モデルの検証」(代表：村松伸)